昭和四年三月廿九日 第三種郵便物認可
（十二日夕刊）昭和四年七月十日三日 THE TOHOKU.NICHINICHI,SHNBUN（土曜日）第百四十六号（一）

夕刊 東北日報 四

年中無休刊
本紙一ヶ月三十錢 郵税一部三錢
廣告料一行五錢 場所指定三錢增
發行兼編輯印刷人 石井孝
發行所 福島縣石城郡平町白銀町十番地東北日報社 電七五七

社説

内郷村新町を平町に併合！

市制の前提と見らる

平町で地主の調印を求む

小名濱商港は石城地方多年の懸案であつた。地方の有力家と、町當局とは必生の努力を捧げて數年の難苦を續けて來たのである

本縣會では民政黨が妨害運動を試み表面に暗中に反對意見を吐露して極力彈壓を加へやうとしたが地方産業發達上の重要使命ありとして、田中内閣が斷然として商港の實現をみるやうになり、盛大なる起工式も擧行し、築港責任技師も任命し、着々と仕事が運んでゐる矢先、突如として濱口内閣の出現により中止命令りたるやに聞き及ぶことは小名濱町のみならず實に石城郡としての大きい損失である。

緊縮方針は吾人も双手を擧げて國家の爲めに賛ふものであるが、民政黨の消極的にして且つ政黨意識とその手心の加はりたる緊縮政策には絶對に反對するものである。

國家の現局は經濟的にみるならば國民生活も、國家の施設も緊縮の要があるであらうことは十指の嚴たる事實であらう。

然れども、國民の口を詰め、産業發達の前途をそ止するが如き緊縮政策は國民思想を惡化し、國家産業の進展をそ止するのみで何等の良結果を得ることが至難であるといふ生々しい直前の事實が礫のみとならう。

殊に、如何に濱口内閣がきん縮政策を執りたるとしても、無産者大衆は以前としてその經濟的生活が惡くこそなれ、決して善くはならないであらう民政黨が、濱口君が、ブルヂョア意識でするきん縮政策なるものは、滑稽なる茶番狂言である。

濱口以下の役者どもが大衆を無視してブルヂョアの觀衆のみに喜ばれる爲めに舞臺で、道化芝居をやつてゐるのみである。

きん縮政策の本質なるものは、社會組織の改造、國家根本からのプロリタリヤ意識で國家大衆にのそむときにして始めて徹底し得るのである。

濱口内かくを中心にして政權とつたで亂舞してゐる連中にこの經濟的原則が知られてもゐないであらうし、知ることも出來ないであらう。

知れば既成政黨の沒落である。

故に茶番狂言であり、道化役者である。

民政黨のきん縮に崇られた請戸、四倉、豊間、仲作最後に小名濱商港の運命に思ひ到れば、名をきん縮にかりて實は政黨的偏見の醜劣なる毒牙の鋭鋒であらうことは、おふあたはざる事實である。

きん縮の名に隱れて爲せる民政黨の行爲を指彈するものである。

平町は人口二萬七千餘人で市制實施も目前に控へて居り之が實施の前提として石城郡内郷村大字小島字新町一部の區域變更問題だい頭してゐたが此の程平町と内郷村との間に變更の諒解なり平町では目下新町の地ぬしに對し變更承諾の調印を求めつゝあり今月末迄に約四十の地ぬしの調印を取まとめ縣に合併申請の手續する由であるが現在新町部落は人口約三百戸數六十あり平町との境界もノキ一ッである爲め從來幾多の不便をしのんで來た同部落民としては變更は當然の事だと非常に喜んでゐる

片倉の講演會

大井技師を迎へて

石城郡平町片倉製糸株式會社では十五日午前九時から同工場内に於て夏秋蠶品質改良の爲め岐阜縣大井産業試驗場技師加藤和一郎氏を招聘大講演會を開催されるが傍聽者は石城郡下一般養蚕家の來場を希望してゐる尚ほ十六日は双葉郡富岡町公會堂に於て催される由である

民政内閣の實現で四倉港にも此の惱み

十一日有志等上京して技術官派遣の運動

石城郡四倉町では漁港實現の運動を起し同町並に築港期成同盟會で内務農林各省に陳情をなした結果近く技術官を派けんの上測量をなす事に決定したので同町では此の際猛烈な運動をなすべく準備中突如内かくが變り既に着工した小名濱商港が中止されるに至つたので何等具體化してゐない四倉港の前途は全く絶望の狀態に陷つた爲め同町有志は十一日急遽上京技術官派けん

日基紀念獨演會

日本基督教會では北宣教開始滿五十年になるので今回平町南町平分教會では十四日午後八時から同教會堂に於て中山眞平師を招聘し紀念獨えん會を開催すると

双葉特信

捕らない大蛇

或は大サメ？

双葉郡木戸村大字前原矢内伊三郎外數名が過般木戸川遂に發見されなかつた右は大蛇でなく大サメであるらしく同川口には是迄にも度々サメが上つて來た事あると

農業指導講習會

双葉郡中部農業調査員指導講習會は十一日午前九時から富岡町公會堂に於て開催されたが講師として本縣統計課愛澤縣屬出張した

優良組合表彰式

双葉水産會で

双葉郡水産會では十三日午前十時から久ノ濱町役場に於て同町漁業組合優良組員表彰式を擧行するが表彰者氏名左の如し

◎船主吉田蘇平　橋本熊太郎　岡田定藏　紋羽善七　鈴木文雄　佐藤治平　吉田賢次郎　佐々木寅之助　馬上佐吉

◎船長阿部範之助　藤田兼吉　坂本熊吉　紋羽善吉　田中辰次郎　佐藤治平　新妻辰五郎

愈々來る二十日

五十鈴軍樂の演奏大會

圓舞曲は「東洋のバラ」

映画は『國境の彼方』等々

軍艦五十鈴の軍樂隊大演奏並に海事思想普及の映画の夕べは二十日午後六時から聚樂館に於て開催されるが當日演奏曲目は小夜曲『ドリゴのセレナート』『千鳥の曲』圓舞曲『東洋のバラ』序曲『ウキリアムテル』意想曲『森の鍛冶屋』映画は『軍艦衣笠進水式』『國境の彼方』『大禮觀艦式の實寫』新派は『我は海の子』『尉山沖の海戰』で泰西『魚に釣られて三千里』等呼び物である

救員球技研究會

双葉郡北双小學校教員聯合球技研究會並に發會式は來る二十日午後一時から浪江小學校に於て開催すると

炎熱苦の行進曲

涼しそうな氷屋の悲哀（八）

腕白を顧客とする

クリーム屋の愚痴

◇

ソーラ氷！氷！氷の聲を聞いてあの透きとほる氷を見たとき思はず涼しくなる程氷は冷たいものだまして一杯で咽喉をうるほしたなら蘇へることだらう。その隣にはアイスクリンだ夏の大道に仲よく肩を並べてゐる暑さの救ひの主がゐる。

商賣にやなりませんせ、このころは何しろ子供が相手ですからネ一日の稼ぎが一圓や一圓五十錢ではもとも子もありやせんやと話す傍らから惡太郎達盛んに寄つてたかるなか〳〵の繁昌じやないかといふとゴッシ〳〵と氷をすりながら打ち解けて話のならぬ氷賣りとネと乙な風流氣を見せながら汗だくで働いてゐるんだからおかしなものアイクリワの方は一個二錢細かい商賣だが十年前には商賣だが想象もしたことのないクリンが二錢で腕白の口にも入るだから世は開けたもの一日車を引つ張つて一錢二錢と子供相手はまことにあはれな商賣でござんすヨ…人の暑さをさまして代りに自身が汗一杯暑さの身代りであるとの人生觀を抱く氷賣りにも一沫の悲あいがある

◇

それに近ごろは衛生とか何んとか警察の方が大分喧しくなるし不景氣だといつてこの商賣は殖える一方十賣れたものが五つに減るといふ始末カラン〳〵と涼しさうな鈴を振つても汗になつて歩いてもその暑さを買つてくれる人は少ないと慘めな愚痴をこぼす涼しさうな暑い氷屋さんも決して樂な仕事ではない

× ×

廣告

ラ寫
イ員
ト館
田町大通り
電話七四八番

西洋料理 丸昇軒
電話四三九番

正確 体温計 寒暖計 関内藥局 電四〇番

故北白川宮能久親王
本郡の御遺蹟（二）
第三王子小松侯を迎へて

故陸軍大將大勳位北白川宮能久親王殿下の第三王子にましますす小松侯爵には、記憶未だ新たなる明治戊辰に圖らず、東奥に奥に御かんか給ひし父君殿下が、本郡に御二泊遊ばされし時の御史蹟を探るべく、來る十八日御來町の由に付、本社は茲に本郡の光榮を紀念し奉りたく、豫ねて殿下の御遺せき研究家にして昨年平町長及び泉村長等に其の顯彰方法を献言したる諸根樟一氏に乞ひて、本文の寄稿を得たるに對し深厚の意を表するものである

勿來生　謹記

慶應四戊　五月二十八日

八ッ七ッ時夕立。

蒸汽船、長慶丸、浦懸り

バッテーラにて二十八人上り、案内人會津なめ川忠次郎五ッ時來り、五十人程上陸、晝仕度致候て宿割周旋方並に水揚荷物有之船十五艘差出候樣御頼に付俄に大混雜、御重役樣は鈴木（主水宅のこと）山崎屋、和泉屋、大阪屋小野屋、小名行一人船賃四兩一分、泉行二人馬、なめ川一人、森傳太郎汽船御乘合は上野御山、會仙、米澤、棚倉、唐津、江戸都合千人餘り申事御荷馬は思ひの外少く五六十駄揚御重役樣々申御方は御出家樣にて丙午廿三才御側御出家二人、御十二人外御役人方警衛嚴重御書食被召上不殘御仕度相濟入ッ頃御出立、上野樣乘籠引戸一てうお士の割其中ご沙汰に付ご奉行齋藤善右衛門罷出、鈴木の玄關にて羽黒綱三郎、川野三郎應接。ワケハ川越には官軍方の樣に相聞ゆる如何と御尋有之答全く左無之候此の節主人上京謹慎故無據一統謹慎罷有決て官に無之趣申開き候得ば備米百五十俵用立候樣被仰付早速及御請直樣御出立跡より追かけ請書差上候事尤緩くお忍びにて被爲入候處關田にて鑛砲筒拂、夫よりご下座觸嚴重ご通行泉泊りの割、全く上野ご門主樣に聊か相違無之振に候右長慶丸にはご出家百人餘乘船早速出帆仙臺の方へ下り詰り會津お入の由實に開びやく以來の珍事の次第にて

註　右文中長慶丸は長鯨丸の誤り又ご出家百人餘は全然の違ひにて慕兵凡そ數百人乘船してゐたこと及びバッテーラは四てうを備へた

此の際宮のご供奉の一人上野山常應院主守慶師の當時の『回顧録』あり次に之を參考に掲げて前者の引用文を補はん

一、蒸汽船長鯨丸ニ相違無之同船ハ長七十間幅之ニ合フ軍艦ニハ無之飛脚船ト申ス事ニ候乍去大砲四門ヲ備ヘ三本煙突ニテ外車バッテーラ四そうヲカケ備フ

右船ニお直乘込ミお供ニハ左ノ

鈴木安藝守、關右京、安藤直記、常門院邦仙、常應院守慶

ノ五名ニ相違爲之事其外ばく臣河野大五郎、羽倉綱三郎二名百事周旋ノ募ヲ取ル其外小笠原繁之助並ニ從者十四五名有之候。會津藩ニテ醫師ノ由、安部井政次、なめ川忠次郎槍ノ師範由

◇必ず良いと評判の映画
帝キネ現代劇
藤間林太郎　主演
悲劇　天の惠
歌川八重子　小島洋々

マキノ特作文藝倶樂部所載
谷崎十郎　櫻木梅子　共演
つゞれ鳥羽玉　前篇
金子新　大林梅子　助演

勝見庸太郎の
海洋大活劇　血の船

◎大帝キネ特作
市川百々之助四役主演
捕物仇討　朱房の十手
千草香子　東良之助　助演

十二日替り　有聲座

回有聲座割引券有り
白銀町　丸山雜貨店

お待兼ねの年一回の
◎藏拂大賣出し
愈々後二日間
本　丸ほん家具店
營業所　平町三丁目　電話五三九番
製造所　平町新田前　電話七二三番

おなじみの
昭和タクシーを
おわすれないで下さい
電話はお好きな二四二番
平驛前

氷水開業廣告
弊店事蒲鉾製造販賣を開業以來各位の特別なる御引立を蒙り候段厚く御禮申上候
夏季中は蒲鉾製造を休み氷水販賣に從事する事と相成申候につき何卒御用命御引立の程願上候
平町一丁目
藤寅
電話百四十一番
あづきアイス　みつ豆
アイスクリーム　ミルクセーキ
其他動力應用清涼飲料水
◎出前は迅速に致します御用命の程を

◇特賣！
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同優等賞受領
鹽屋最上醤油釀造元
山崎合名會社
平町土橋　電話一〇番　二七番
東京上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七一二番

梅毒と鹽毒を
切らず…注射せず…治す
獨逸のベルツ博士の發見
ベルツ丸
惱み苦しむ人々よ…速刻服用して其偉効を味はれよ
藥價　輕症用三圓、重症用五圓、頑固用拾圓
根治德用廿圓、試用二圓、一圓
平町五丁目角
地方一手特約店　山野邊藥局

通學服
小學
一年生…八十錢　二年生　九十錢
三年生…一圓　四年生…一圓十錢
五年生…一圓二十錢
中學
一年…二圓四十錢　二年…二圓五十錢
三年　二圓六十五錢　四年…二圓七十五錢
五年…二圓八十五錢
◆……早賣り……安賣り……◆
正札堂

自轉車
自動自轉車
附屬品
卸商　山光堂
福島縣平町四丁目
電話五五〇番
◎此の際特に勉強仕り候

十二日より上映プログラム
◎松竹蒲田大作　原作脚色…清水廣
柳さくら　藤野秀夫　主演
悲曲　海の叫ぶ女　全
助演者…國島莊一　久米順子　其他
弟の爲めに其身を賭して其の生涯を涙に送る柳獨占久方振りに見る大悲劇です

原作大佛次郎　監督辻吉郎
サンデー毎日特輯號所載
牛身
葛籠尾　英　桃華　香一郎　本上
酒井米子　横山運平　森田肇
時を異にせる兄弟がある
勤王と佐幕新思潮の外來維新開化の潜行運動時元治元年會津城跡になく憂の士愁
◎土曜日　中學生　日活松竹
○二生　○一生　小學生
◎一デー
平館
電四六六

◎市川右太衛門映画（松竹提供）
原作　山口天竜　監督　長尾史錄入社第一回作
寛文年鑑　水野十郎左衛門　全
助演…中村吉松　高堂國典　巴蝶子　梅田菊造
德川四代寛文の頃でした四谷六方白柄組水野一味と賣淫を事とする町奴と意氣地を張つて賣出した柳橋の名妓とを綴る名作